

「胃全摘出術」で手術を受けられる患者さんへ

入院から退院までの予定表

様

患者番号: _____

主治医: _____ Dr. _____

	月日 前日	月日 手術前	月日 手術後	月日 1病日	月日 2病日	月日 3病日	月日 4病日	月日 5病日
普通の経過	手術の説明を聞き、準備をしていきます。		痛みが強い時は痛み止めを使用します。	痛み止めを使用しながら歩くことができます。				食べ方の説明を受け、ゆっくり時間をかけて、食事を摂ることが出来ます。
診察	麻酔科 医師 診察と説明がありますので、ご家族と一緒に聞いて下さい。	朝 主治医 回診に伺います。	主治医 診察に伺います。					
処置 投薬 治療	弾性ストッキングの測定をします。 お臍の掃除をします。 寝る前に下剤を飲みます。	お腹の毛を剃ります。 点滴を開始します。 弾性ストッキングを履きます。	手術室でレントゲン撮影をします。 病室は回復室に変わります。 酸素吸入、心電図を開始します。 背中に痛み止めのチューブが入っています。 鼻に管が入っています。 採血を行います。	朝 医師 医師が回診に伺います。 レントゲン・採血を行います。 心電図、酸素をはずします。 鼻の管を抜きます。 お腹に管が入っています。	朝 医師 背中の痛み止めの管を抜きます。	採血を行います。 創部のテープをはがします。		
説明 指導	主治医 看護師 手術の説明をします。 入院生活、手術について説明します。	看護師 手術前の説明をします。		午前中 看護師 初回歩行は看護師が付き添います。		看護師から食事について説明があります。		栄養科より食事についての説明があります。
排泄			尿の管が入ってきますので、寝たままの状態です。	尿の管を抜き、トイレまで歩きます。その後の排泄はトイレで行えます。				
安静	制限はありません。		ベッド上で寝たままの状態です。	看護師 医師の回診後積極的に体を動かしましょう。	痛みの具合を見ながら、自由に歩けます。			
食事	午後9時以降 夕食までは普通の食事が出来ます。午後9時以降は食べることができません。飲水については看護師から説明があります。	指示があるまで飲んだり、食べたりしないで下さい。うがいはできます。				氷片をなめるか、少量のお水を飲むことができます。		主治医の許可があればゼリー、水分の多い食事が出来ます。徐々に固形の食事が多くなります。
保清	入浴出来ます。 爪切りを済ませて下さい。	お腹の毛を剃った後シャワー浴をします。 歯磨き・洗面を行っていただきます。(化粧を落とし、ひげを剃ってください)		朝の洗面は介助します。看護師の介助で体を拭いて、着替えます。	体をタオルで拭きます。 洗髪やシャワー浴を行うことが出来ます。(看護師に声をかけてください)			

「胃全摘出術」で手術を受けられる患者さんへ

入院から退院までの予定表

※この予定表は、おおよその目安です。患者さんの状態等により、予定が変更になることもありますのでご了承ください。
わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日
6病日	7病日	8病日	9病日	10病日	11病日	12病日
						
 お腹に入っている管を抜きます。	採血を行います。 食事が食べれていれば、点滴を終了します。(12時まで)				採血を行います。	
						
		退院前栄養士からの栄養指導があります。家族の方にも説明させていただきますので、都合のいい日を看護師にお伝え下さい。			退院前日に看護師より退院指導があります。	
						
					医師の許可があれば入浴できます。	

※食事指導について
胃全摘手術では術後の食事摂取について栄養士・看護師が説明をします。

- ・入院時に食事指導①を看護師が行います。
- ・飲水開始日に食事指導②を看護師が行います。
- ・食事開始日に食事指導①を栄養士が行います。
- ・退院前日に食事指導③を栄養士・看護師がそれぞれ行います。

また食事開始日より、昼食時に食事摂取状況について看護師がアドバイスを行います。記録紙への記載をお願いします。